

# 東京の労働力

平成19年1～3月平均結果 -

「労働力調査」(総務省所管)の東京都分について、平成19年1～3月平均の集計結果を公表します。結果の概要は、次のとおりです。

## 東京都の完全失業率 4.4%

- ・前年同期に比べ2期連続0.1ポイントの上昇
- ・前年同期に比べ男性は低下、女性は上昇

### 主な特徴 (表1、統計表第2表、統計表参考)

#### (労働力人口)

労働力人口は703万6千人で、前年同期に比べ27万1千人(4.0%)増加した。  
・男性は21万2千人(5.3%)、女性は5万9千人(2.2%)それぞれ増加した。

#### (就業者数)

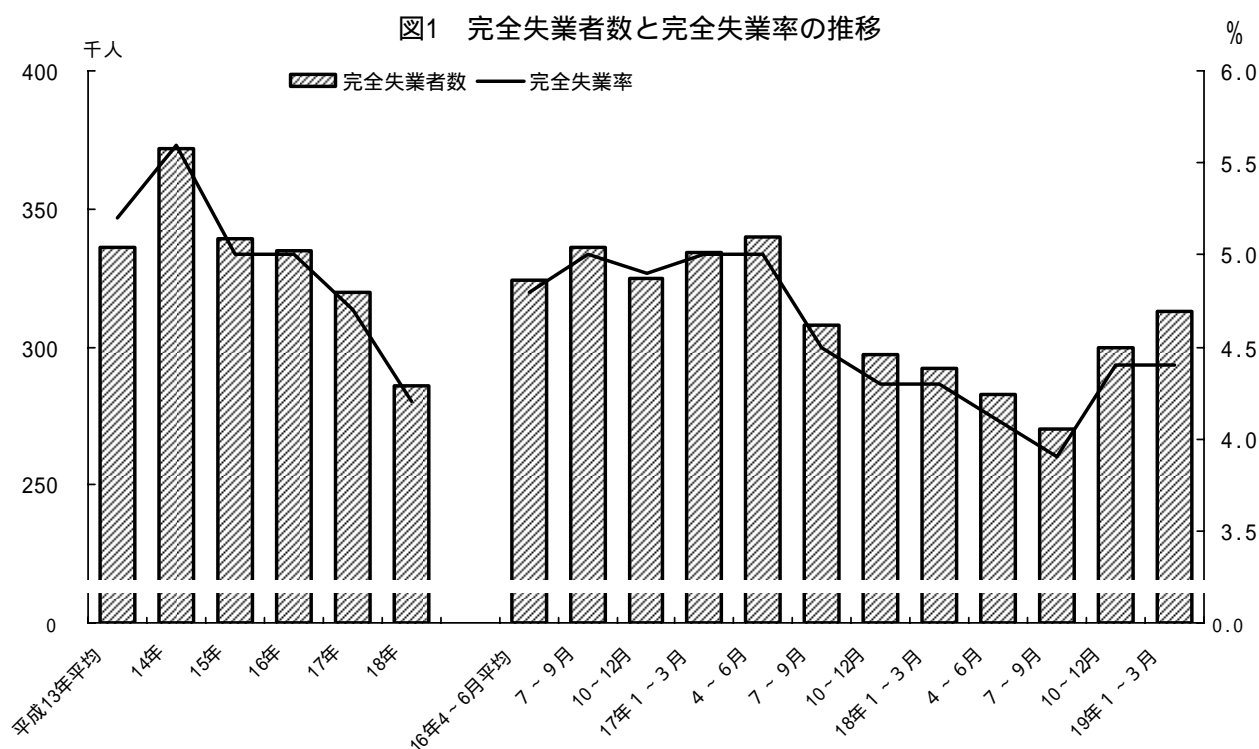
就業者数は672万3千人で前年同期に比べ25万人(3.9%)増加した。  
・男性は21万5千人(5.6%)、女性は3万5千人(1.3%)それぞれ増加した。  
・男性、女性共に2期ぶりの増加となった。

#### (完全失業者数)

完全失業者数は31万3千人で前年同期に比べ2万1千人(7.2%)増加した。  
・男性は3千人(1.5%)減少したが、女性は2万4千人(25.3%)増加した。

#### (完全失業率)

完全失業率は4.4%で、前年同期に比べ0.1ポイント上昇となった。  
・前年同期に比べ2期連続の上昇となった。  
・男性は4.6%、女性は4.3%となった。前年同期に比べ男性は0.3ポイント低下したが、女性は0.8ポイント上昇した。



## 1 労働力人口

労働力人口は703万6千人となり、前年同期に比べ27万1千人(4.0%)増加した。

男女別にみると、男性は424万7千人、女性は278万8千人となり、前年同期に比べ男性は21万2千人(5.3%)、女性は5万9千人(2.2%)それぞれ増加した。

(表1、統計表第2表 P8、P9 )

表1 就業状態別、男女別15歳以上人口

(単位:千人、ポイント、%)

就業状態等	男女計	男	女	対前年同期					
				増減数			比		
				男女計	男	女	男女計	男	女
15歳以上人口	11 234	5 572	5 662	258	147	111	2.4	2.7	2.0
労働力人口	7 036	4 247	2 788	271	212	59	4.0	5.3	2.2
就業者数	6 723	4 054	2 669	250	215	35	3.9	5.6	1.3
完全失業者数	313	194	119	21	- 3	24	7.2	-1.5	25.3
非労働力人口	4 193	1 321	2 873	- 14	- 66	53	-0.3	-4.8	1.9
完全失業率	4.4	4.6	4.3	0.1	-0.3	0.8			

\* 15歳以上人口には、分類不能・不詳を含むため内訳の合計とは必ずしも一致しない。

## 2 就業者

### (1) 就業者の推移

就業者数は672万3千人となり、前年同期に比べ25万人(3.9%)増加した。

男女別にみると、男性は405万4千人、女性は266万9千人となり、前年同期に比べ男性は21万5千人(5.6%)、女性は3万5千人(1.3%)それぞれ増加した。

男性、女性共に2期ぶりの増加となった。

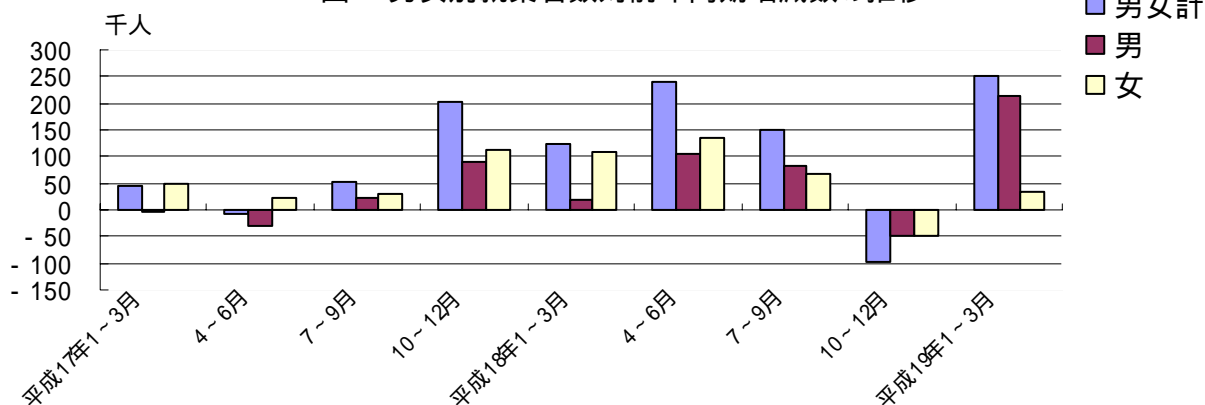
(表1、表2、図2、統計表第2表 P8、P9)

表2 男女別就業者数の推移

(単位：千人)

就業者数		17年				18年				19年
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
実数	男女計	6 348	6 419	6 483	6 560	6 473	6 660	6 633	6 463	6 723
	男	3 821	3 832	3 819	3 886	3 839	3 938	3 902	3 836	4 054
	女	2 527	2 587	2 663	2 674	2 634	2 722	2 730	2 627	2 669
対前年 同期 増減数	男女計	46	- 9	52	204	125	241	150	- 97	250
	男	- 5	- 30	23	91	18	106	83	- 50	215
	女	50	22	29	113	107	135	67	- 47	35

図2 男女別就業者数対前年同期増減数の推移



### (2) 雇用者数の推移

就業者を従業上の地位別でみると、雇用者数は597万3千人となり、前年同期に比べ25万1千人(4.4%)増加した。

男女別にみると、男性は358万人、女性は239万3千人となり、前年同期に比べ、男性は21万7千人(6.5%)、女性は3万3千人(1.4%)それぞれ増加した。

(表3、統計表第3表<P10、P11>)

表3 雇用者数の推移

(単位：千人)

雇用者数		17年				18年				19年
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
実数	男女計	5 520	5 675	5 643	5 752	5 722	5 931	5 845	5 627	5 973
	男	3 318	3 371	3 299	3 379	3 363	3 488	3 416	3 305	3 580
	女	2 202	2 304	2 344	2 373	2 360	2 444	2 429	2 322	2 393
対前年 同期 増減数	男女計	18	11	- 23	223	202	256	202	- 125	251
	男	- 13	- 4	- 18	82	45	117	117	- 74	217
	女	31	15	- 5	141	158	140	85	- 51	33

### (3) 非農林業雇用者数

非農林業雇用者数全体では596万7千人となり、前年同期に比べ25万1千人(4.4%)増加した。従業者規模別で見ると、「1~29人」は、前年同期に比べ1万5千人(0.8%)、「30~499人」は1万1千人(0.6%)、「500人以上」は20万1千人(12.7%)、いずれも増加した。  
(表4、統計表第6表<P14>)

表4 従業者規模別非農林業雇用者数 (単位:千人、%)

規 模	非農林業雇用者数			対 前 年 同 期					
	男女計	男	女	増減数			比		
				男女計	男	女	男女計	男	女
*総 数	5 967	3 575	2 393	251	215	37	4.4	6.4	1.6
1~29人	1 886	1 105	781	15	39	- 24	0.8	3.7	-3.0
30~499人	1 824	1 067	757	11	3	7	0.6	0.3	0.9
500人以上	1 783	1 120	663	201	172	29	12.7	18.1	4.6

\* 総数には、官公・従業者規模不詳を含む。

### (4) 主な産業別就業者数及び雇用者数

就業者数をみると「教育,学習支援業」は前年同期に比べ減少したが、その他の産業は増加した。雇用者数も同様に、前年同期に比べ「教育,学習支援業」は減少したが、その他の産業はいずれも増加した。  
(表5、統計表第4・5表<P12、P13>)

表5 主な産業別就業者数及び雇用者数 (単位:千人、%)

産 業	就 業 者 数			雇 用 者 数		
	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比
建 設 業	472	11	2.4	399	25	6.7
製 造 業	911	61	7.2	842	59	7.5
情 報 通 信 業	533	62	13.2	516	56	12.2
運 輸 業	375	27	7.8	333	24	7.8
卸 売・小 売 業	1 202	43	3.7	1 098	44	4.2
金 融・保 険 業	217	9	4.3	213	7	3.4
不 動 産 業	208	21	11.2	183	14	8.3
飲食店,宿泊業	404	4	1.0	334	13	4.0
医 療, 福 祉	490	32	7.0	440	29	7.1
教育,学習支援業	272	- 38	-12.3	247	- 28	-10.2
サービス業(他に分類 されないもの)	1 225	15	1.2	1 030	10	1.0

## 3 完全失業者

### (1) 完全失業者数の推移

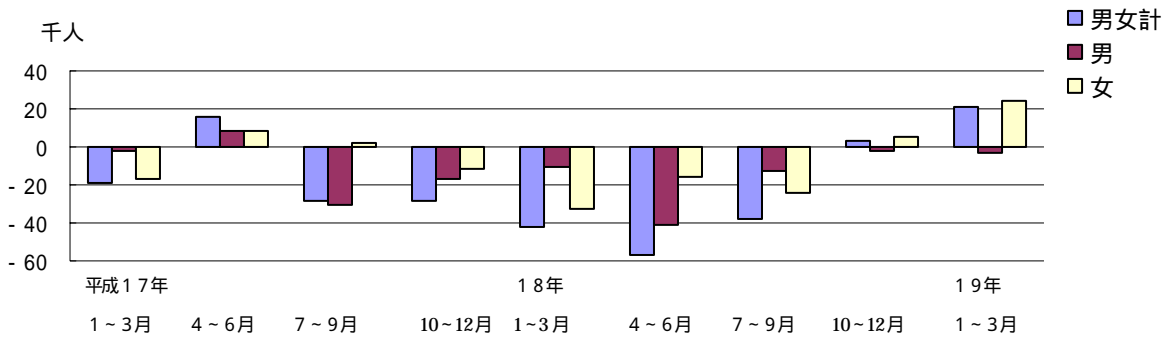
完全失業者数は31万3千人で、前年同期に比べ2万1千人(7.2%)増加した。

男女別にみると、男性は前年同期に比べ3千人(1.5%)減少したが、女性は2万4千人(25.3%)増加した。  
(表1、表6、統計表第2表 P8、P9、図1、図3)

表6 男女別完全失業者数の推移 (単位:千人)

完全失業者数		17年				18年				19年
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
実 数	男女計	334	340	308	297	292	283	270	300	313
	男	207	201	175	183	197	160	162	181	194
	女	128	139	133	114	95	123	109	119	119
対前年 同 期 増減数	男女計	- 19	16	- 28	- 28	-42	-57	-38	3	21
	男	-2	8	-30	-17	-10	-41	-13	-2	-3
	女	-17	8	2	-12	-33	-16	-24	5	24

図3 男女別完全失業者対前年同期増減数の推移



(2) 完全失業率

完全失業率は4.4%となり、前年同期に比べ0.1ポイント上昇し、2期連続の上昇となった。

男女別にみると、男性は4.6%、女性は4.3%となった。前年同期に比べ、男性は0.3ポイント低下したが、女性は0.8ポイント上昇した。(表7、図1、統計表第2表<P8>)

表7 年齢階級別、男女別完全失業率

(単位: % ポイント)

区分		総数	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上
実数	男女計	4.4	8.1	5.5	3.8	3.5	4.0	2.7
	男	4.6	8.9	6.5	3.5	2.7	4.5	2.9
	女	4.3	7.2	4.2	4.5	4.6	3.1	2.2
対前年 同期 増減率	男女計	0.1	2.3	-0.2	0.0	-0.1	-0.1	0.6
	男	-0.3	2.0	0.4	-0.8	-0.9	-0.9	-0.3
	女	0.8	2.6	-0.9	1.6	0.9	1.1	1.7

(3) 完全失業率の全国、南関東との比較

東京都の完全失業率は2期連続上昇し、全国水準を上回った。

全国の完全失業率は4.1%となり、前年同期に比べ0.3ポイント低下した。南関東(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)は4.0%となり、前年同期に比べ変化がなかった。

(統計表参考<P15>、図4)

